

みの～れと出会ってあっという間の17年



「見つける・みがく・光を当てる」
芸術展プロジェクト

しまだ ちえこ
島田 千恵子さん

「みの～れには楽しい思い出しかない！」
と笑顔で語る島田さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.169

第32回東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が2021年7月23日に一年遅れて開幕しました。感動、熱気、興奮がテレビ観戦でも伝わってきましたね。まだまだ暑い日が続きますが、お日様の光をたっぷり浴びた夏野菜をたくさん食べて元気に過ごしてください。今回は、「見つける・みがく・光を当てる」芸術展プロジェクトのメンバーで小美玉市花野井区にお住まいの島田千恵子さん取材します。

島田さんにみの～れに関わるようになったきっかけを聞いてみました。「あれっ？何年まえだったかな？山口館長に声をかけていただき足かけ17年ですね。ボランティアを始めてどの位年月が経ったのか忘れてしまいうくらい楽しい思い出があります。2018年に第15回でフィナルを迎えた「みの～れ芸術展」から関わっています。当時は子育て、会社、親の介護、まるで伝書鳩のように飛び回っていました。みの～れに来るときが自分の時間でしたな。」と懐かしそうに話してくれました。

また、芸術展に関わるようになって感じたことは「小美玉市に、素晴らしい作家さんがたくさん住んでいて、作家さんと直接お話しできるのが素晴らしいと思いました。親の介護をしていた時期は、芸術展の時だけお手伝いに来たのですが、もともと絵を観るのが好きだったので、みの～れに

来るのは羽根が生えたように嬉しかったです。一緒にボランティアをしている方は、絵を描く人、花を育てる人、皆さん何かに一生懸命向き合う人ばかりで凄いと感動だと思いました。皆さんからたくさん刺激を受けて、私も頑張ろうって思えます。いろいろなところに出て、まだ自分が知らない好きなものに出会いたいですね」と島田さん。

島田さんの趣味は、家庭菜園。趣味と実益を兼ねて新鮮な朝採り野菜を出荷しています。「花でも野菜でも育てている姿を見るのは楽しいですね」と笑顔で話してくれました。また、「時間があれば音楽鑑賞も…。主にクラシックが好きですね」と多趣味な一面を覗かせてくれました。

今回の「たまご？展」は、新型コロナウイルスの影響で2回の延期を乗り越え、やっと開催に辿り着きました。みの～れの風のホールいっぱい映し出

されるプロジェクトセッションマップは、笠間市にお住まいのデジタルアーティスト作家イシキヨコさんによる「宇宙散歩たまごver.」です。小美玉市内の子どもたちにも絵を描いてもらい、852点が集まりました。その中から選ばれた69点がプロジェクトセッションマップとして映し出されます。「たくさんのお客様に見てもらいたいです」と笑顔で話してくれました。

※「たまご？展」ですが、政府からまん延防止等重点措置地域に茨城県が指定されたことを受け、開催を延期することになりました。実行委員のメンバーは準備にたくさん時間をかけて素晴らしいデジタルアートの世界を皆さんに届けられるように務めてきました。残念ですがまだ実施できる日が来ることを楽しみにしています。なお、延期日程は未定とのことですよ。

(藤田佐知子)